

## diBar2D\_WIN について

### 【動作環境】

Windows8 / 8.1 / 10

### 【インストールとアンインストールについて】

CD に収録されている「WelSetup.exe」を起動し、[インストール]→[diBar2D\_WIN のインストール]を選択して、[実行]ボタンをクリックしてください。インストーラが起動されますので、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

インストール後、デスクトップ上の「diBar2D\_WIN」のアイコンをダブルクリックすると、ツールは起動します。

アンインストールする場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」から行ってください。

### 【メイン画面】

diBar2D\_WIN を起動するとメイン画面が表示されます。「C:\¥Users¥(ログインしたユーザー名)¥Documents」に「diBar2D」というフォルダがない場合、フォルダが作成されます。ツール実行中はこのフォルダを削除しないでください。

**スキャナ選択**


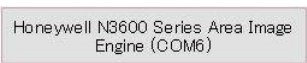

- ・「開始」になっているボタンをクリックして、スキャナを接続します。
- ・ポート名が黒色で表示されているボタンはスキャナ接続中です。
- ・ポート名が赤色で表示されているスキャナにイメージングコマンドが送信されます。

**コマンド選択**  
 設定・送信するコマンドを選択します。

**コマンド実行**  
 送信するコマンドのオプションを指定します。  
 入力枠の右の数字は入力可能範囲、カッコ内は初期値です。  
 「実行」をクリックすると選択しているスキャナにコマンドが送信されます

**設定ファイル**  
 読み込んだ設定ファイル名を表示します。

スキャナ選択ボタンの表示はスキャナとの接続・選択状態によって表示が変わります。ボタン表示と状態およびクリック時の動作は次の通りです。

表示	状態	クリック時の動作
開始 	スキャナ未接続 ・スキャナを接続できます。	・スキャナの接続のための通信設定画面が表示されます。
ポート名(黒字) 	スキャナ接続中	・コマンド送信対象になります。 ・ポート名が赤字になります。 ・ターミナル画面が前面表示されます。
ポート名(赤字) 	スキャナ接続中・選択中 ・イメージコマンドの送信対象です。	・ターミナル画面が前面表示されます。

## 【撮影(IMGSNP)】

スキャナで画像を撮影するための IMGSNP コマンドを送信します。



[実行]ボタンをクリックすると、選択中のスキャナに IMGSNP コマンドを送信します。

[初期値に戻す]ボタンをクリックすると、ドロップダウンリスト項目はデフォルト値に、数値入力項目は空欄になります。

IMGSNP コマンドで撮影した画像は、IMGSHR(画像受信)コマンドで取り込むことができます。

## 【画像受信(IMGSHNP)】

IMGSHNP(撮影)コマンド、またはスキャナのトリガを押して撮影した画像を取り込むための IMGSHNP を送信し画像を受信します。



[実行]ボタンをクリックすると、選択中のスキャナに IMGSHNP コマンドを送信します。

[初期値に戻す]ボタンをクリックすると、ドロップダウンリスト項目はデフォルト値に、数値入力項目は空欄になります。

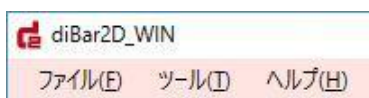
<イメージ表示>チェックありで、ファイルフォーマットが「TIFF バイナリ」「TIFF バイナリ G4 圧縮」「TIFF グレースケール」「JPEG」または「BMP」の場合、受信した画像が別ウィンドウで表示されます。

受信した画像ファイルは<保存ファイル名>で指定されたファイル名で保存されます。すでに同じファイル名がある場合、上書きされます。ファイル名中の「&D」は日付に、「&T」は時刻に置き換えられます。

保存ファイル名の指定がない場合、「C:\Users¥(ログインしたユーザー名)\Documents¥ diBar2D」に「diBar2D\_Image」という名前前で保存されます。(拡張子は<ファイルフォーマット>で指定されたフォーマットの拡張子となります。)

## 【メニュー表示】

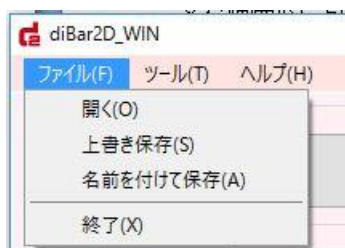
メイン画面の左上にあるメニューから設定ファイルの読み込み・保存、各種設定を行うことができます。



## ファイルメニュー

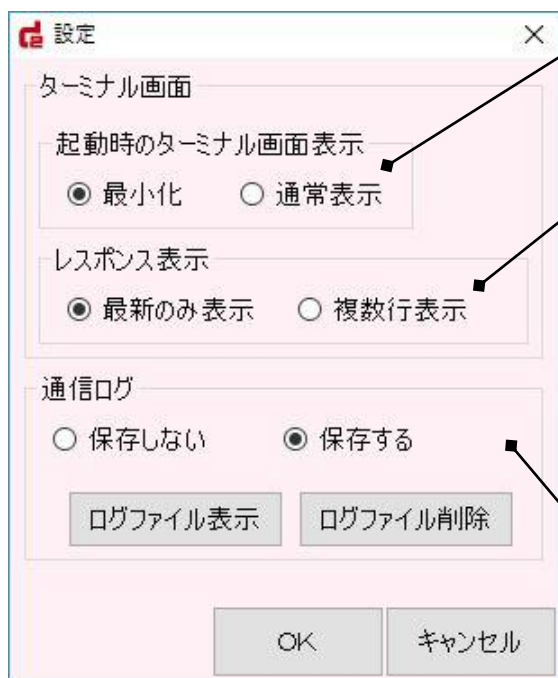
設定ファイルの読み込み・保存を行います。設定ファイルには撮影(IMGSHNP)と画像受信(IMGSHNP)の設定内容が保存されます。保存した設定ファイルを読み込むことで設定内容を読み出すことができます。

本ツールは、起動時には最後に保存した設定ファイルの内容を読み込んで起動します。



## 設定

[ツール(T)]→[設定(O)]で設定ウィンドウが表示されます。



### ターミナル画面起動時設定

ターミナル画面の起動時の表示状態を設定します。最小化して表示する場合は「最小化」を、通常表示する場合は「通常表示」を選択します。

### レスポンス表示設定

ターミナル画面のレスポンス表示方法を設定します。最新の結果のみを表示する場合は「最新のみ表示」を選択します。画面表示またはクリアボタン押下以降のレスポンスを表示する場合は、「複数行表示」を選択します。

ターミナル画面の[クリア]ボタンを押すと、すべてのレスポンス表示が消去されます。

また、ターミナル画面からコマンドファイルを実行した場合も、コマンド実行前にすべてのレスポンス表示が消去されます。

### 通信ログ保存設定

本ツールとスキャナとのコマンド送受信の通信ログを保存するかどうかを設定します。保存する場合は「保存する」を、保存しない場合は「保存しない」を選択します。

[ログファイル表示]ボタンをクリックすると通信ログファイルを表示します。

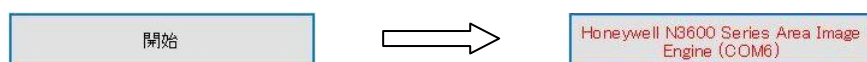
[ログファイル削除]ボタンをクリックすると通信ログファイルを削除します。一度削除したログファイルは復活できません。

## 【通信設定画面】

「開始」と表示されているボタンをクリックすると、通信設定画面が表示されます。各パラメータをスキャナと一致するように設定し、「接続」をクリックしてください。



正常に接続された場合、スキャナ選択ボタンの表示が、選択したポート名に変わり、ターミナル画面が表示されます。(起動時のターミナル画面表示で「最小化」が選択されている場合は、最小化表示されます。)



## 【ターミナル画面】

ターミナル画面は接続中スキャナごとに用意されます。

**シリアルコマンド送信**

- ・送信するコマンドを「送信コマンド」枠に入力して、「送信」をクリックしてください。
- ・コマンドの実行結果は、<レスポンス>に表示されます。

**通信終了**

スキャナとの接続を切断し、ターミナル画面を終了します。

**受信中止**

実行している受信を中止します。

**クリア**

<レスポンス>と<データ表示>に表示されている内容をクリアします。

**トリガ**

スキャナのトリガの ON/OFF を操作します。

**データ表示**

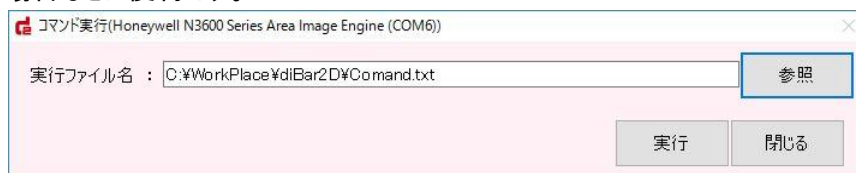
スキャナで読み込んだバーコードデータが表示されます。

### 注意！

- ・イメージの受信プロトコルは「2P プロトコルなし(USB のデフォルト)」にのみ対応しています。
- ・イメージデータ受信中は、通信終了(切断)できません
- ・通信エラーが発生した場合、レスポンスやデータ表示枠に不要なデータが表示される場合があります。

## 【コマンドファイル実行】

テキストファイルに記述されているイメージングコマンド、メニューコマンドを実行します。同じコマンドを繰り返し実行する場合などに便利です。



[実行]ボタンをクリックすると、実行ファイルにあるコマンドを順番に実行していきます。実行状況はターミナル画面に表示されます。

## コマンドファイルの例

